



平成25年度シンポジウム

社会にはばたく博士人材の育成

—— イギリスの実践と日本の取り組み

開会式

- 13:30 ▶ 13:40 (10分) ● **開会挨拶** 濱口道成 名古屋大学総長
- 13:40 ▶ 13:45 (5分) ● **来賓挨拶** 文部科学省 (予定)

第1部 博士人材の育成に関する先進事例の検討

本セッションでは、博士人材の育成に関する先進事例として注目される英国の「トランスファーブル・スキルズ・トレーニング」(大学院で学んだ人材を社会で活躍させることを目的に、約10年前に英国の各大学で開始された実践的教育の取り組み)の経験から、PhDプロフェッショナル登龍門をはじめとする日本の博士課程教育リーディングプログラムはどのような示唆を得ることができるとについて検討します。

- 13:45 ▶ 14:25 (40分) ● **英国におけるトランスファーブル・スキルズ・トレーニングの経験** ジョン・ターナー博士 エジンバラ大学学術能力開発研究所所長
- 14:25 ▶ 14:45 (20分) ● **質疑応答**
- 14:45 ▶ 15:00 (15分) ● **休憩**



ジョン・ターナー博士の略歴

エジンバラ大学博士号(石油地質学)。ポストドクター研究員を経て、同大学における自然環境に関する学際的な研究修士号(MRes)の確立に尽力、同コース主任。エジンバラ大学に博士課程トランスファーブル・スキル・ユニットを設立(1997年)。Vitaeのスコットランドおよび北アイルランド拠点コーディネーター、コインブラ・グループの欧州若手研究リーダーのためのサマースクールリーダーを歴任し、エジンバラ大学学術能力開発研究所所長に就任。

第2部 名古屋大学PhD登龍門の活動と展望

- 15:00 ▶ 15:20 (20分) ● **PhD登龍門の活動と展望** 杉山直 名古屋大学PhD登龍門コーディネーター、理学研究科教授
- 15:20 ▶ 16:10 (50分) ● **PhD登龍門履修生の討論**
- 16:10 ▶ 16:25 (15分) ● **質疑応答**
- 16:25 ▶ 16:40 (15分) ● **休憩**
- 16:40 ▶ 17:10 (30分) ● **国際アドバイザリーボードからのコメント** 赤坂清隆 フォーリン・プレスセンター理事長、前国連事務次長
ジェフ・ストリーター ブリティッシュ・カウンシル駐日代表
平野幸久 中部国際空港株式会社顧問、愛知日英協会会長
- 17:10 ▶ 17:15 (5分) ● **閉会挨拶** 山本一良 名古屋大学教育担当理事
- 17:45 ▶ 19:45 (120分) ● **意見交換会** (希望者のみ)

名古屋大学・博士課程教育リーディングプログラム「PhDプロフェッショナル登龍門」では、これまでの活動を総括し、今後の展望を検討するために、シンポジウムを開催致します。本シンポジウムを開催することにより、世界的な規模で進む高等教育の改革の中にPhDプロフェッショナル登龍門を位置付け、今後の活動に向けての示唆を得ることが期待されます。

参加申込

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご身分・連絡先(メールアドレス、電話番号)・意見交換会への出欠を 10ryumon04@post.jimu.nagoya-u.ac.jp へ1月17日(金)までにメールにてお知らせ下さい。意見交換会への参加希望者には、別途、会場をお知らせします。

言語

日本語・英語(同時通訳あり)

問い合わせ先

名古屋大学
PhDプロフェッショナル登龍門推進室

TEL
052-789-5717

e-mail
10ryumon04@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

日時 **2014年1月23日 木** 13:30 - 17:15

会場 **愛知芸術文化センター
アールスペースA室(12階)**

名古屋市東区東桜一丁目13番2号
地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分

